取扱説明書〈FB-S〉

この度は、当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。
この時計を末永くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さいますようお願い申しあげます。
尚、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧下さい。

◆安全上のご注意

ご使用になられる方や他の人への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、次の表示で区分されている内容につきましては必ずお守り下さい。

⚠ 警告…この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

⚠ 注意…この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに『人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

◆製品の特徴

①この時計は、自動巻機械時計です。手巻きはできません。
②時刻表示の他に、パワーリザーブインジケーターおよび日付(針表示)が付いています。
③ワールドタイム機能を備えています。
④てんぷを衝撃から守る、耐震軸受を使用しています。
⑤秒針停止装置が付いています。

◆製品仕様

（1）機　　能…時・分・秒針、日付針、パワーリザーブ表示、ワールド
　　　　　　　タイム表示
（2）振 動 数…21,600振動／1時間
（3）精度日差…＋10～－5秒
（4）駆動方式…ぜんまい巻（自動巻）
（5）石　　数…21石
（6）持続時間…40時間以上

※精度日差は室温において、ぜんまいを全巻にし、文字板上で静置した状態で、24時間経過した時の日差です。

※自動巻機械時計の特性上、ご使用になる条件（携帯時間・時計の姿勢・腕の動き・ぜんまいの巻上げ具合等）によっては、精度日差の範囲を超える場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

◆ご使用方法

【各部の名称とはたらき】

A：時針

B：分針

C：秒針

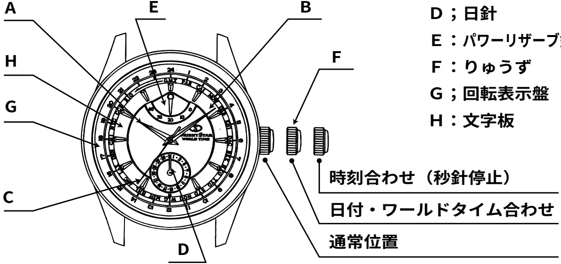
D；日針

E：パワーリザーブ針

F：りゅうず

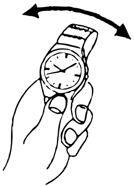
G；回転表示盤

H：文字板



【自動巻機構について】

①この時計は自動巻機械時計です。
②ぜんまいは時計を腕に付けた状態で通常の腕の動きで自然に巻くことができます。
③止まっている時計をご使用になるときは、10数回時計を振って下さい。運針を始めます。秒針が動きだしたら日付・時刻・ワールドタイムを合わせて下さい。
④この時計は、ぜんまいが充分に巻き上げられた状態で約40時間動き続けます。ぜんまいの巻き上げが不足すると進み遅れの原因になりますので、精度を保つために1日8時間以上携帯することをおすすめします。



【ねじロック式りゅうずモデルの場合】

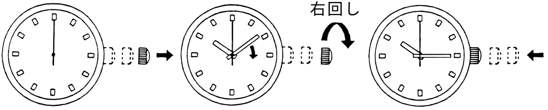
モデルによってはりゅうずが引き出せないタイプ（ねじロック式りゅうずモデル）になっているものがあります。
このタイプの時計については、次の操作方法を行って下さい。

- ・日付、時刻、ワールドタイム合わせ時は、先にりゅうずを左に回し、ねじを緩めてから行って下さい。
- ・日付、時刻、ワールドタイム合わせ終了後は、りゅうずを押しながら右に回し、ねじを止まるところまでしっかり締め込んで下さい。

◆時刻及び日付の合わせ方

【時刻の合わせ方】

①秒針が12時（60秒）の位置にきた時、りゅうずを2段目まで引き出します。（秒針は停止します）
②りゅうずを右に回して現在の時刻に合わせます。
※この時計はカレンダー付きの時計のため、午前・午後を間違えないようにセットして下さい。日付が変わるときが「午前0時」となります。
※時刻を合わせる際には、針を一旦正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにして下さい。
③時報と同時にりゅうずを通常の位置（0段目）まで押し込みます。

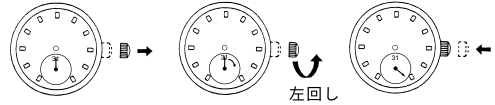


【日付の合わせ方】

⚠注意

※時刻が午後8時から午前2時までの間はカレンダーの切換え作動中ですので、日付合わせは避けて下さい。この時間帯に日付を合わせますと、翌日になっても日付が変わらないことや故障の原因となる場合があります。日付合わせを行う場合は、この時間外に針を移動させてから行って下さい。

①りゅうずを1段目まで引き出します。
※この時計のりゅうずは2段に引けます。
②りゅうずを左に回して今日の日付に合わせます。
③りゅうずを通常の位置（0段目）まで押し込みます。



◎月末の日付修正について

小の月では日付の修正が必要になりますので、翌月の1日になりましたら、日付を「1日」に合わせて下さい。

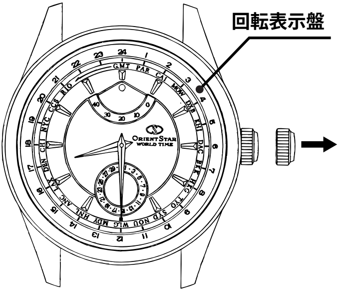
◆回転表示盤（ワールドタイム機能）の使い方

◎回転表示盤を回し、都市名と時刻を合わせることにより、各都市の時刻を同時に読みとることができます。

①時刻が現在の時刻に合っていることを確認します。

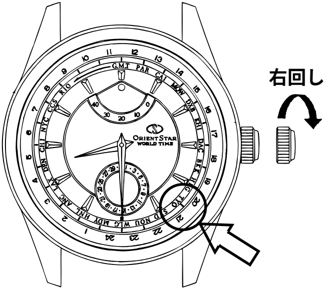
②りゅうずを1段目まで引き出します。

※この時計のりゅうずは2段に引けます。



③りゅうずを右に回して、
あなたが現在いる都市に、
回転表示盤の現在時刻を
合わせます。（表示盤は
30分単位で左回りに回
転します。）

④りゅうずを押し込みます。
例.　日本で使用する場合
回転表示盤の現在時刻を
TOKYO(TYO)に合わせ
ます。日本時間午後8時
30分の場合、回転表示
盤の20時と21時の中間
をTOKYO(TYO)に合わ
せます。



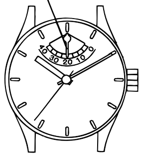
標準時比較一覧

都市名			その他の都市	GMTとの時差
GMT		グリニッジ標準時	ロンドン、カサブランカ、ダカール	0
PARIS	(PAR)	パリ	ローマ、アムステルダム、トリポリ、フランクフルト、ベルリン	+1
CAIRO	(CAI)	カイロ	アテネ、イスタンブール、ケープタウン	+2
MOSCOW	(MOW)	モスクワ	メッカ、ナイロビ、キエフ	+3
DUBAI	(DXB)	デュバイ		+4
KARACHI	(KHI)	カラチ		+5
DHAKA	(DAC)	ダッカ	タシケント	+6
BANGKOK	(BKK)	バンコック	プノンペン、ジャカルタ	+7
HONGKONG	(HKG)	ホンコン	シンガポール、北京、マニラ	+8
TOKYO	(TYO)	東京	ソウル、平壌	+9
SYDNEY	(SYD)	シドニー	グァム島、ハバロフスク	+10
NOUMEA	(NOU)	ヌーメア(ニューカレドニア)	ソロモン諸島	+11
WELLINGTON	(WLG)	ウエリントン	オークランド、フィジー諸島	+12
MIDWAY	(MDY)	ミッドウェイ		−11
HONOLULU	(HNL)	ホノルル		−10
ANCHORAGE	(ANC)	アンカレッジ	ドーソン(カナダ)	−9
LOS ANGELES	(LAX)	ロサンジェルス	サンフランシスコ、バンクーバー	−8
DENVER	(DEN)	デンバー	エドモントン(カナダ)	−7
CHICAGO	(CHI)	シカゴ	メキシコシティー	−6
NEW YORK	(NYC)	ニューヨーク	ワシントン、モントリオール	−5
CARACAS	(CCS)	カラカス	サンチャゴ(チリ)	−4
RIO DE JANEIRO	(RIO)	リオデジャネイロ	ブエノスアイレス	−3
			ペルデ岬島	−2
AZORES		アゾレス		−1

※国によっては、夏時間（サマータイム）がある場合もあり、各国の時差およびサマータイムは国の都合により変更となる場合があります。

※都市名は世界各国の代表都市が明記してあります。また、製品の改良のため予告なく仕様の一部を変更することがありますのでご了承下さい。

◆パワーリザーブインジケーター



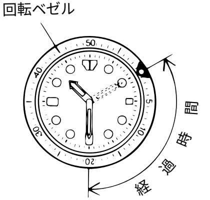
パワーリザーブインジケーターとはぜんまいの巻き上げ状態を時間で示し、残り駆動時間がひと目で解る機能です。ぜんまいの巻き上げ残量の表示はパワーリザーブ針によって表示していますので、針の指す時間が巻き上げ残量時間です。

※**このぜんまいの巻き上げ残量時間はあくまでも目安ですので、表示の時間と実際の残量時間には差がありますので予めご了承下さい。**

本製品は自動巻の製品にパワーリザーブインジケーター機能を備えていますので、腕に付けている間は腕の動きにより、ぜんまいが常に巻き上げられ、パワーリザーブ針の表示は、全巻(40H)方向を表示しています。尚、腕の動きの量により、ぜんまいの巻き上げ量は異なりますので、常に全巻(40H)方向を表示しているとは限りませんのでご了承下さい。腕から外し、ぜんまいを巻き上げなければ時間の経過とともにパワーリザーブ針の表示はゼロ方向へと移動します。

◆回転ベゼルの使い方

商品により、**回転ベゼル付きのモデル**がありますので、お買い求めの時計をご確認の上、正しくご使用下さい。回転ベゼルを回して、∇マークを分針に合わせて下さい。ある時間が経過した後に分針の示す回転ベゼル上の数字を読むことにより、経過時間を知ることができます。また、目的時刻に合わせておくことにより、残り時間を知ることもできます。
回転ベゼルは逆回転防止機構の付いた、ラチエツト装置が付いていますので、ショックによる不用意な回転を防止し、また目盛りのセットがしやすくなっています。



上図は、10時10分から20分経過したことを示しています。

◆お取扱いにあたって

（1）防水性能について

⚠警告

①日常生活用防水（3気圧）の時計は、洗顔等には使用できますが、水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
②日常生活用強化防水Ｉ（5気圧）の時計は、水泳などには使用できますが、スキンダイビングを含めて全ての潜水には使用できません。
③日常生活用強化防水Ⅱ（10・20気圧）の時計は、スキンダイビング（素潜り）には使用できますが、空気ボンベを使用するスキューバー潜水及びヘリウムガスを使用する飽和潜水などには、使用できません。

タイプ ＼ 使用条件		●一時的にかかる水滴（洗顔・雨など）	●水泳・ヨットなどの水上スポーツ、漁業・農業などの水仕事 水道の蛇口等強い水流	●空気ボンベを使用しないスキンダイビング	●スキュバーダイビング（空気ボンベ使用）	●水中でのりゅうず操作並びに水滴のついたままでのりゅうず操作
非防水	ケースの裏ぶたにWATER RESISTANT表示のない時計。	×	×	×	×	×
日常生活用防水	ケースの裏ぶたにWATER RESISTANT表示のある時計。	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水Ｉ	ケースの裏ぶたにWATER RESISTANT表示とともに裏ぶた又は、文字板に5BAR表示のある時計。	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水Ⅱ	ケースの裏ぶたにWATER RESISTANT表示とともに裏ぶた又は、文字板に10BAR、15BAR又は20BAR表示のある時計。	○	○	○	×	×

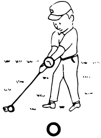
※時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、上記使用可能範囲にそって正しくご使用下さい。

⚠注意

④りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用下さい。りゅうずがねじロック式のものであれば、しっかり締め込まれているか確認して下さい。
⑤水中あるいは水分のついたままりゅうず操作をしないで下さい。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
⑥非防水時計については、一時的にかかる水滴（洗顔時の水はね・雨など）や汗にはご注意下さい。万一、水や汗でぬれた場合には乾いた柔らかい布で水分を拭き取って下さい。
⑦日常生活用防水時計でも、勢いのある水道の水を直接あてるなどのことは避けて下さい。リミット以上の水圧がかかり防水不良となる場合があります。
⑧日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸かった後は、ケースについた海水をよく洗い流し、洗った後はよく拭き取りサビなどが出ないようにして下さい。
⑨皮革バンドは材質の特性上、水にぬれると耐久性に影響がでる場合があり、脱色・接着はがれなどの不具合も起こすことがありますので、特に水の中で使う場合には、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用下さい。
⑩時計内部には多少の湿気がありますので、外気が時計内部の温度より低いときにはガラス面がくもる場合があります。くもりが一時的の場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合や時計内部に水分が入っている場合には、そのまま放置せず、お買い上げ店、またはオリエント時計サービスセンターにご相談下さい。

（2）ショックについて

①ゴルフなどの軽スポーツによる影響はありませんが、激しいスポーツの場合は取り外して下さい。
②床面に落とすなどの激しいショックは与えないで下さい。



（3）磁気について

①家庭用電気製品程度の磁気には心配ありません。
②磁石、磁気健康器具（肩こり治療器・腕輪など）、電気マージャン台などの強い磁気を発生するものには、近づけないで下さい。
③時計にANTIMAG.Ⅰ またはANTIMAG.Ⅱ と表示してある時計は磁気に耐えられる性質を強化してありますが、強い磁気を発生する器具に密着またはより近づけることはお避け下さい。

●ANTIMAG.Ⅰ … 4,800A/m（ 60ガウス）
●ANTIMAG.Ⅱ … 16,000A/m（200ガウス）
まで耐えられます。

④強い磁気を発生する所に長時間放置しますと部品が磁化して、故障の原因となることがありますので、ご注意下さい。
⑤磁気の影響を受けると一時的な進み遅れが生じることがありますが、磁気から遠ざけると元の精度で動きます。この場合は時刻を修正して下さい。
⑥発生する磁気の強さは表を参考にして下さい。

● 身の回りの磁気製品・電気製品の磁界の強さ

製　品　名	磁界の強さ（単位:A/m） 密着状態	判定 ANTIMAG Ⅰ	判定 ANTIMAG Ⅱ	磁界の強さ（単位:A/m） 5cm離れた状態	判定 ANTIMAG Ⅰ	判定 ANTIMAG Ⅱ
紙止め用磁石（DC）	23,900〜71,600 （300〜900ガウス）	×	×	200〜1,200 （2.5〜15ガウス）	○	○
テレビ（AC・DC）	500〜1,200 （6〜15ガウス）	○	○	0〜400 （0〜5ガウス）	○	○
冷蔵庫の開閉部磁石（DC）	31,800〜63,700 （400〜800ガウス）	×	×	400〜3,200 （5〜40ガウス）	○	○
電話機のスピーカー部（DC）	2,400〜3,600 （30〜45ガウス）	○	○	300〜400 （4〜5ガウス）	○	○
電気カミソリ（AC）	6,400〜11,900 （80〜150ガウス）	×	○	400〜800 （4〜10ガウス）	○	○
音響製品のスピーカー部（DC）	600〜20,000 （8〜250ガウス）	△	△	0〜3,200 （0〜40ガウス）	○	○
各種家具の開閉部磁石（DC）	47,800〜63,700 （600〜800ガウス）	×	×	800〜1,200 （10〜15ガウス）	○	○
磁気パッド（DC）	47,800〜119,400 （600〜1,500ガウス）	×	×	0 （0ガウス）	○	○
磁気ネックレス（DC）	63,700〜95,500 （800〜1200ガウス）	×	×	40〜80 （0.5〜1ガウス）	○	○
ハンドバッグの開閉部磁石（DC）	28,700〜63,700 （360〜800ガウス）	×	×	0〜240 （0〜3ガウス）	○	○

※ 判定の ○ は影響無し、× は影響有り、△ は製品・機種によって異なります。
※ 上表の数値は目安です。磁界の強さは磁気製品・電気製品の機種により強弱が異なります。
※ 磁界の強さは距離の二乗に反比例しますので、密着状態と少し離れた状態でその数値は大きく異なります。

（4）振動について

①強い振動を加えないで下さい。時計の進み遅れの原因になります。
（注：場合によっては、点検調整修理が必要になります。）

（5）温度について

①常温〈5˚C〜35˚C〉から外れた環境では、機能が低下したり停止する場合があります。

（6）化学薬品・ガスなどについて

①ガス、水銀、化学薬品など（シンナー・ガソリン・各種溶剤、またはそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類）が触れるとケース、バンド、文字板の変色や樹脂部品では、変色、変形、破損する場合がありますので十分ご注意下さい。

◆かぶれやアレルギーについて

⚠ 注意

①体質により皮革・金属・軟質及び硬質プラスチックなどにて皮膚がかぶれたり、肌に異常が認められたときは、直ちにご使用を中止し、専門医にご相談下さい。

◆ルミナスライトについて

①商品によっては、針・文字板等にルミナスライトを使用しているものがあります。
ルミナスライトは放射性物質を含まない安全な蓄光塗料（光を蓄えて発光する塗料）です。太陽光や照明光等の光を塗料に蓄えて発光します。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度(明るさ）は時間の経過とともにだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際、ガラスの形状・蓄光材の厚み・まわりの明るさ・時計との距離・光の吸収度合などの諸条件により、発光の強さや時間には差が生じます。光の蓄え方が弱い場合、発光が弱かったり発光時間が短いことがありますのでご注意ください。

◆ 耐水処理バンドについて

①商品によっては、汗や水に触れても吸収しにくい特殊な処理を施した皮革・ナイロンバンドを使用しているものがあります。このバンドの耐水性は使用期間・使用条件により、効果が劣化しますのでご了承下さい。

◆銀製品について

①商品によっては、ケース・バンドが銀及び銀メッキのものがあります。銀の性質として、酸化物・硫化物（空気中や人体老廃物など、身の回りに多く存在します。）と反応して表面の色合いが黒く変色します。このような場合は、銀製品用クロスで拭いて下さい。元の色合いに戻ります。

◆長くご愛用いただくために

⚠ 注意

(1) ケース・バンドのお手入れ

①ケース・バンドなどに付着した汚れや水分は時計機能を損なったり、皮膚の弱い方のかぶれや衣類の袖口を汚す原因となる場合があります。末永くご使用いただくために柔らかい布などで拭き常に清潔にしてお使い下さい。特にバンドは肌着類と同様、直接肌に接していますので、定期的に次の方法で汚れを取りご使用下さい。

【ケース】

汚れを柔らかい布などで拭き取って下さい。薬品などは変色の原因となりますので、使用しないでください。

【金属バンド】

石鹸水を付けた柔らかい歯ブラシで部分洗いをして下さい。このとき、非防水時計は水がケースにかからないように注意して下さい。汚れたままにしておきますと腐食・サビの原因ともなります。

【皮革バンド】

乾いた柔らかい布で、水分・汚れを取り除いて下さい。こすると、色落ちすることがありますので注意して下さい。

【軟質プラスチックバンド】
ウレタン・ナイロンなどのバンドは特に手入れの必要はありませんが、汚れがひどくなりますと皮膚がかぶれたりする場合がありますので、時々石鹸水または水で洗って下さい。薬品などは変質の原因となりますのでご使用にならないで下さい。また使用期間によっては、材質が硬くなり、折れたり割れたりする場合がありますので、その際は新しいバンドと交換して下さい。

②ケース及びバンドに水銀（体温計など）・薬品などが付着すると変色する場合がありますのでご注意下さい。

③バンドは指1本が入る程度の余裕を持たせ通気性をよくしてご使用下さい。また、皮革バンドは高温多湿になる場所での保管は避けて下さい。

（2）回転ベゼルのお手入れ

回転ベゼル付きの商品はベゼルの下に汚れなどがたまり、機能が損なわれる場合がありますので、柔らかい歯ブラシで汚れを落とし清潔にしておいて下さい。

（3）点検のおすすめ

①2〜3年に1度の点検をおすすめします。保油状態、汗・水分侵入の有無などお買い上げ店またはオリエント時計サービスセンターにお申しつけ下さい。点検の結果によっては調整・修理を必要とする場合があります。

②定期点検をする際は、防水性能を保つために、パッキン等の交換をおすすめします。また、ばね棒も必要に応じて交換して下さい。

③部品交換のときは「純正部品」とご指定下さい。

◆保証とサービスについて

※保証書は必ずお読みください。

1.保証について

本製品が保証期間内に取扱説明書にそった正常なご使用状態で、万一故障が生じた場合には、保証書に従い無償で修理・調整致します。保証書を添えてお買い上げ店またはオリエント時計サービスセンターにお持ち下さい。保証内容は保証書に記載されていますので必ずお読み下さい。

2.補修用部品の保有期間について

この時計の補修用部品の保有年数は生産終了後、通常１０年間を基準としています。

*補修用部品とは

製品（時計）内部の時間機能のための機械体（ムーブメント）の部品です。

ケース・ガラス・文字板・針・バンド・りゅうずなど製品の機能維持と直接関係ない外装部品は含まれていません。これらの外装部品は、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承下さい。

3.修理可能期間について

原則として、正常なご使用であれば補修用部品の保有期間中の修理は可能です。ただし、修理可能時期は、ご使用条件・環境で著しく異なり、精度の劣化も修理によっては初期精度の復元が困難な場合がありますので、修理ご依頼の際には、現品持参の上、お買い上げ店とよくご相談下さい。

4.ご転居・ご贈答品の場合について

ご転居・ご贈答品などで、お買い上げ店が遠隔地となり、保証サービスが受けられない場合にはお近くの当社サービスセンター又は営業所にご相談下さい。

5.その他のお問い合わせについて

本製品に関するお問い合わせ・保証とサービスについてご不明の点がありましたらお近くの当社サービスセンターへお問い合わせ下さい。

INSTRUCTION MANUAL (FB-S)

Thank you for your purchase of our product. To ensure prolonged use and optimum performance, please read this instruction manual carefully and familiarize yourself with the terms of the guarantee.

Please keep this Instruction Manual in your hand and refer in time of need.

◆ Safety precautions

In order to prevent injury to you and others as well as damage to property, make sure to read and follow the instructions marked with the symbols below:

⚠ **WARNING**	Failure to follow the instruction may cause death or serious injury.
⚠ **CAUTION**	Failure to follow the instruction may cause injury or damage the device.

◆ Product features

①This is an automatic-winding mechanical watch. You cannot wind it manually.
②In addition to showing the time, it has a power reserve indicator and a date.
③All models have a world time function .
④The watch uses jewelled shockabsorbing device to protect the balance staff against rugged activity.
⑤**The second hand halts, to let you set the time precisely.**

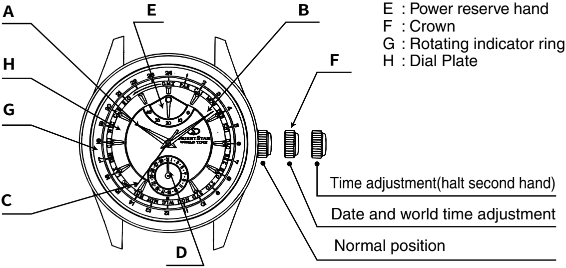
◆ Specifications

(1) Functions : Hour, minute, second, date hands, power reserve display, and world time display
(2) Vibrations : 21,600 / hour
(3) Daily accuracy : +10 to -5 sec.
(4) Drive system : Mainspring (automatic winding)
(5) Number of jewels : 21
(6) Running time : 40 hours or more

* The stated daily accuracy is correct in the following conditions:
At normal room temperature with a full wound mainspring, left the watch facing the dial plate up and 24 hours have elapsed.
* Due to the characteristics of automatic winding watched, the time may deviate outside the "daily accuracy" stated in some conditions (time worn each day, position of the watch, movement of your arm, winding condition of the mainspring).
* Product specifications may change without notice, for improvement.

◆How to use

【Name and function part】



A : Hour hand
B : Minute hand
C : Second hand
D : Date hand
E : Power reserve hand
F : Crown
G : Rotating indicator ring
H : Dial Plate

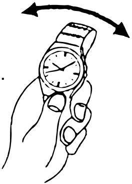
[Automatic winding mechanism]

① This is an automatic-winding mechanical watch.

② The mainspring is wound by your natural arm movements while wearing the watch on your wrist.

③ If your watch stops, swing the watch to and from ten times or more, to start the second hand moving. After it starts moving, adjust the date, the time, or the world time.

④ This watch will run approximately 40 hours after it is fully wound. If it is not wound enough, the watch may lose time. In order to maintain the watch's accuracy, we recommend wearing the watch at least 8 hours a day.



[Screw-lock type crown model]

Depending on the model, you may not be able to pull the crown out without unscrewing it (screw-lock type crown model).

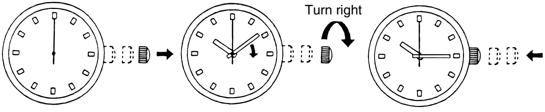
Operate this type of watch as described below:

- Before adjusting the date, time, or world time, first turn the crown to the left to loosen the screw lock.
- After adjusting the date, time, or world time, turn the crown to the right while pressing in, until it stops turning. This will tighten the screw securely.

◆How to adjust date and time

【How to adjust the time】

① Pull the crown out to the 2nd step when the second hand is at 12 O'clock (60 second) position. (The second hand will stop moving.)
② Adjust the current time by turning the crown to the right.
* This watch has a calendar function. Do not confuse AM and PM settings when adjusting the time. The date changes when the time is "00:00 AM."
* When setting the time, first move the hand back few minutes before the current time, and then advance the hand slowly to the correct time.
③ When setting it to a time signal, push the crown into its normal position(step 0).

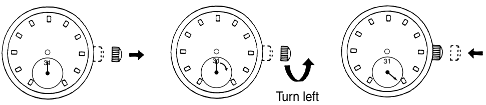


[How to adjust the calendar (date)]

CAUTION

Do not adjust the date during the period from 8:00 PM to 2:00 AM since this is the period when the watch mechanism is changing the calendar indicator. If the calendar is adjusted during this period, the date may not change on the next day or the watch may malfunction. If you want to adjust the date display during this period, move the hour hand to a time outside this interval.

① Pull the crown out to the 1st step. * The crown can be pulled out one or two steps.
② Turn the crown left until you reach today's date.
③ Press in the crown to the normal position (step 0).



◎ Date adjustment at the end of month
In months with thirty or fewer days, adjust the date on 1st day of the next month.

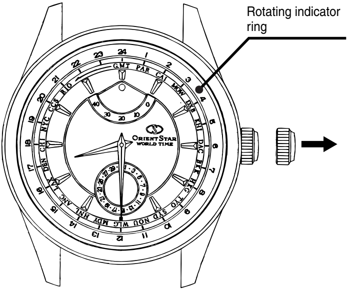
◆How to use the rotating indicator ring (world time function)

◎Turn the world time bezel and match the city name and the time, you can read the time in any city in the world.

① Make sure that the hands shows the current time.

② Pull the crown out one step.

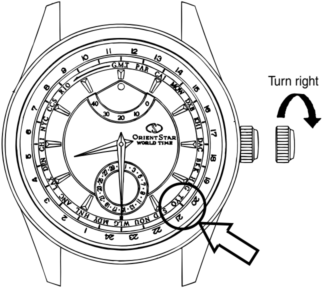
* The crown can be pulled out one or two steps.



③ Turn the crown to the right to set the current world time to the desired city name. (The rotating indicator ring turns to the left in unit of 30 minutes.)

④ Push the crown in.

E.g.: When you use the watch in Japan Turn the TOKYO (TYO) position on the rotating indicator ring. If the time is 8:30 PM in Japan, move the rotating indicator ring to the midpoint between 20:00 and 21:00 at the TOKYO (TYO) position.



◆Table of cities that have the same time

City name		Other cities that have the same time	Time differences from GMT
GMT(Greenwich Mean Time)		London, Casablanca, Dakar	0
PARIS	(PAR)	Rome, Amsterdam, Tripoli, Frankfurt, Berlin	+1
CAIRO	(CAI)	Athens, Istanbul, Cape Town	+2
MOSCOW	(MOW)	Mecca, Nairobi, Kiev	+3
DUBAI	(DXB)		+4
KARACHI	(KHI)		+5
DHAKA	(DAC)	Tashkent	+6
BANGKOK	(BKK)	Phnom Penh, Jakarta	+7
HONGKONG	(HKG)	Singapore, Beijing, Manila	+8
TOKYO	(TYO)	Seoul, Pyongyang	+9
SYDNEY	(SYD)	Guam, Khabarovsk	+10
NOUMEA (New Caledonia)	(NOU)	Solomon Islands	+11
WELLINGTON	(WLG)	Oakland, Fiji Island	+12
MIDWAY	(MDY)		-11
HONOLULU	(HNL)		-10
ANCHORAGE	(ANC)	Dawson Creek (Canada)	-9
LOS ANGELES	(LAX)	San Francisco, Vancouver	-8
DENVER	(DEN)	Edmonton (Canada)	-7
CHICAGO	(CHI)	Mexico City	-6
NEW YORK	(NYC)	Washington DC, Montreal	-5
CARACAS	(CCS)	Santiago (Chile)	-4
RIO DE JANEIRO	(RIO)	Buenos Aires	-3
		Cape Verde	-2
AZORES			-1

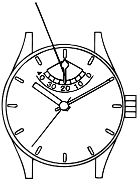
* Some countries have a summer time system. The time difference from GMT in each country and the dates that summer time applies are up to each country.
* The cities listed in the table are typical cities around the world. The specifications are subject to change for the product improvement without prior notice.

◆Power reserve indicator

The power reserve indicator shows the amount the watch is wound as an amount of time, so you can see how long the watch will run at a glance. The power reserve hand indicates the remaining amount. The time pointed to by the power reserve hand is the remaining amount of time.

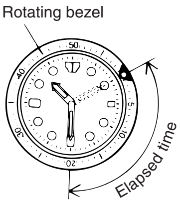
*** The remaining time shown is only an approximation. The time shown may be different from actual remaining time.**

This product has an automatic-winding system which comes with a power reserve indicator function. The mainspring will be automatically wound by your natural arm movements while you wear it on your wrist. The power reserve hand is pointing to the fully wound position (40H). The amount the watch is wound will change with the frequency of your arm movements and the amount of time you wear the watch, so the hand will not always point to the fully-wound position. If you remove the watch from your arm and do not wind manually, the power reserve hand will move toward zero as time passes.



◆ How to use the rotating bezel

Some models have a rotating bezel. Check the watch you purchased to see if it has a rotating bezel. Turn the rotating bezel and point the triangle mark at the minute hand. After some time has elapsed, you can read the amount of elapsed time by looking at the point on the rotating bezel where the minute hand is currently pointing. By pointing the triangle mark at a target time in the future, you can read the remaining time to go. The rotating bezel clicks at one minute intervals and is designed not to turn backwards (counter-clockwise) to avoid accidentally changing the bezel setting.



The figure above shows that 20 minutes have passed since you started timing at 10 minutes after 10 o'clock.

◆ Handling precaution

(1) Water-proof performance

⚠WARNING

① A water-proof watch for every day use(3 atm.) is available for face-washing,etc., but avoid putting it in the water.
② A reinforced water-proof watch for every day use(5 atm.) is available for swimming, etc., but do not put it on when you go under water such as skin diving.
③ A water-proof watch for every day use(10 or 20 atm.) is available for skin diving, but not for scuba diving using air cylinder and saturation diving using helium gas.

Operating conditions / Type		Splashing the watch with water in daily life (when washing your face or wearing the watch in the rain, etc.)	Swimming or engaging in sailing or other water sports, undertalking wark in water such as fishing or agriculture, exposing the watch to a strorong flow of water	Skin diving with out the use of air tank	air tank (used for scuba diving)	Operating the crown under water or oprating the crown white the watch is still wet not water-resistant
Not water resistant	Any watch without "WATER RESISTANT" inscribed on the back of the case	×	×	×	×	×
Water resistant for everyday use	Any watch with "WATER RESISTANT" inscribed on the back of the case	○	×	×	×	×
Reinforced water resistant for everyday use I	Any watch with "WATER RESISTANT" and "5BAR" inscribed on the back of the case or on the watch fase	○	○	×	×	×
Reinforced water resistant for daily use II	Any watch with "WATER RESISTANT" and "10BAR," "15BAR," or "20BAR" inscribed on the back of the case or in the watch face	○	○	○	×	×

※Confirm an inscnption of water-proofness given on the face or back of the watch and use correctly according to the adove-mentioned scopes of availability.

⚠ CAUTION

④ The crown should be always pushed in (normal position). If the crown is a screw-lock type. make sure that it has been screwed in tightly.

⑤ Do not turn or pull out the crown under the water or in the wet condition. The water may enter inside the watch and deteriorate water-proofness.

⑥ For a non-water-proof watch, pay attention to temporarily splashedwaterdrops (splashedwater at facewashing, rain, etc.) and sweat. If it is wetted withwater or sweat, wipe it off with dry soft cloth.

⑦ Even if you are wearing the water-proof watch for every day use, do not expose it directly to the powerful running water from a water tap. A water pressure beyond the limit will be applied and may deteriorate water-proofness.

⑧ If the reinforced water-proof watch for every day use is dipped in the sea water, wash away the sea water compietely from the watch case and wipe the watch properly to prevent occurrence of rust.

⑨ If a leather watchband is dipped in the water , if may lose its durability and be decolored or unglued. When using the watch in the water , replase the watchband with other material (metal or rubber) in advance.

⑩ It is slightly humid inside the watch. If an outer temperature is lower than inside the watch, the glass surface may become cloudy. If it is only temporarily cloudy the internai mechanism will not be affected. It remains cloudy for a long time or there is moisture inside watch, however, consult the shop where you purchased or the nearest ORIENT WATCH Servise Center.

(2) Shock

① This watch is not affected by playing golf or some other light sport. When you are engaged in a more vigorous sport, you should take off the watch.

② Do not drop the watch on the floor or hit it against the hard surfaces.

(3) Magnetic field

①The watch is not affected by the maganetism produced by the home electric appliances.

②Keep the watch away from the magnets, magnetic health aids(gadgets for relieving still shoulders, arm-bands, etc.), electric mah-jong tables, etc. Which produce the strong magnetism.

③If "ANTIMAG. I " or " ANTIMAG. II " is inscribed on the watch, it means that your watch has been made further resistant to the magnetism. However, do not bring it into contact with or closer to any device which produces the strong magnetism.

●ANTIMAG. I with stands the magnetism up to 4,800A/m(60gauss)

●ANTIMAG. II with stands the magnetism up to 16,000A/m(200gauss)

④If the watch is left in the strong magnetism for a long time, its part will be magnetized and result in a trouble.

⑤The watch affected by the magnetism may lose or gain time temporarity. If it is put away from the magnetism, however, it wll run at its original accuracy. If this is the case, correct the time.

⑥Refer to the table below for strength of the magnetism produced.

• Magnetic fields of various magnetic products and electrical products.

Name of product	Magnetic field strength (unit: A/m)	Judgment		Magnetic field strength (unit: A/m)	Judgment	
	Proximity	ANTIMAG I	ANTIMAG II	Separated by at least 5 cm	ANTIMAG I	ANTIMAG II
Magnet for holding papers (DC)	23,900 - 71,600 (300 - 900 gauss)	×	×	200 - 1,200 (2.5 - 15 gauss)	O	O
TV set (AC, DC)	500 - 1,200 (6 - 15 gauss)	O	O	0 - 400 (0 - 5 gauss)	O	O
Refrigerator magnet (DC)	31,800 - 63,700 (400 - 800 gauss)	×	×	400 - 3,200 (5 - 40 gauss)	O	O
Magnet of telephone set speaker	2,400 - 3,600 (30 - 45 gauss)	O	O	300 - 400 (4 - 5 gauss)	O	O
Electric shaver (AC)	6,400 - 11,900 (80 - 150 gauss)	×	O	400 - 800 (4 - 10 gauss)	O	O
Stereo speaker (DC)	600 - 20,000 (8 - 250 gauss)	△	△	0 - 3,200 (0 - 40 gauss)	O	O
Furniture magnet (DC)	47,800 - 63,700 (600 - 800 gauss)	×	×	800 - 1,200 (10 - 15 gauss)	O	O
Magnetic pad (DC)	47,800 - 119,400 (600 - 1,500 gauss)	×	×	0 (0 gauss)	O	O
Magnet for necklace	63,700 - 95,500 (800 - 1,200 gauss)	×	×	40 - 80 (0.5 - 1 gauss)	O	O
Magnet stone of handbag	28,700 - 63,700 (360 - 800 gauss)	×	×	(0 - 3 gauss) 0 - 240	O	O

* O: No influence. X: Influenced. Δ: Varies with part or model

* The figures above are for reference only. Magnetic power intensity may vary with each magnetic product and/or electrical appliance.

* Magnetic intensity is in inverse proportion to distance from a magnetic source. Therefore, the intensity may significantly decrease by moving objects a short distance apart.

(4) Vibration

① Do not bang the watch. It may cause the time to change.
(Note: In some cases, inspection, adjustment, and repair may be necessary.)

(5) Temperature

① If the watch is used outside the normal temperature range (5 to 35 ℃), it may keep time badly, or stop.

(6) Chemicals, gases, etc.

①Note that if the watch comes into contact with gases, mercury, chemicals (thinner, gasoline, various solvents, or cieaners, adhesives, paints, medicines, perfumes, cosmetics containing any of those substances), the case, watchband, dial may be discolored and the resin parts may be discolored, or broken.

◆ Allergic reactions

⚠ CAUTION

① If you have a skin rash or abnormally irritated skin due to exposure to leather, metal or soft/hard plastics, stop wearing the watchimmiediately and consult a dermatologist.

◆ About luminous light

①Some watches have luminous hands and dials.

The luminosity is produced by a luminous paint (a paint that stores light and emits it) and is harmless; no radioactive substances are contained. The paint stores light-beam energy such as that from the sun and lighting equipment, and produces light by itself. As the emitted light comes from stored light energy, the luminance (brightness level) will weaken over time. The intensity and duration of luminance, which depend on the amount of light energy stored, will vary according to the watch glass shape, paint thickness, ambient brightness, distance between the watch and light source, and degree of light beam absorption. Please note that if insufficient light energy is stored, the intensity of luminance will be weak, or the duration of luminance may be short.

◆ Water-proof watch band

①Some of our products come with a leather or nylon watchband which has been specially treated to inhibit absorption of perspiration or water even if they come into contact. The water- proofness of the watchband will be deteriorated depending on how long it has been worn and how it has been used.

◆ Watches with silver or silver-plated features

① Some of our products have a silver or silver-plated case and watchband. Due to the properties of silver,oxides and sulfides(prevalent in the air and around the body in the form of waste substances sloughed off by the body) will react with the silver to turn the surface coloring black. If this is the case, wipe the surfaces with an exclusive silver products cleaning cloth. The original coloring will then be restored.

◆ For extended use

⚠ CAUTION

(1) Maintenance of the case and watchband

① Dirt and moisture on the case and watchband may interfere with the watch functions, cause skin rashes to a person with susceptible skin, or soil the cuffs of clothings. To ensure prolonged use, use a soft cloth to wipe off the dirt and moisture and keep the watch clean at all times. Since the watchband makes direct contact with the skin as with underwear,remove dirt periodically, follwing the method described below.

[Case]

Wipe off dirt, using a soft cloth, etc. Do not use any chemical because it may discolor the case.

[Metal watchband]

Wash the dirty parts, using a soft toothbrush dipped in soap water. If you watch is not water-proof, take care to keep water away from the case. If the watch is left dirty, corrosion or rust may result.

[Leather watchband]

Remove moisture and dirt, using a soft dry cloth. Do not rub the leather because this may cause the color to fade.

[Soft plastic watchband]

A urethane or nylon watchband needs no special care, but since your skin may become irritated if dirt is allowed to build up, wash the watchband from time to time with soap water or plain water. Do not use any chemical because it may alter the quality of the watchband. Depending on how long the watchband has been worn, its material may harden, crack, or break. In this case, the watchband should be replaced with a new one.

② Note that allowing mercury (thermometer, etc.) or chemicals into contact with the case or watchband may result in discoloration.

③ The watchband should be worn loosely so that a finger can be inserted between the watchband and wrist to provide good air-permeability. Do not keep a leather watchband in any location subject to high temperature and humidity.

(2) Maintenance of the elapsed time bezel

If your watch comes with an elapsed time bezel, dirt may become stuck underneath the bezel, impairing its function. Remove the dirt, using a soft toothbrush and keep the bezel clean.

(3) Periodic inspection

① It is recommended that you should have your watch inspected everycouple of years. Ask your dealer or the nearest ORIENT WATCH Service Center to check lubrication and possible penetration or moisture inside the watch.

② In order to ensure water-proofness, it is recommended to replace packings, etc, at the time of periodic inspection. Spring barsshould be also replaced as required.

③ Specify that the genuine ORIENTWATCH parts be used when parts are to be replaced.

◆ Warranty and service

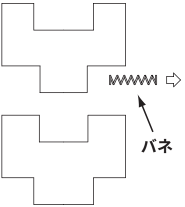
*** Make sure to read the warranty card.**

1. Warranty
   If the watch fails to operate under normal operation conditions within the warranty period, return it to the shop in which you purchased it or to our service center, along with its warranty card. We will repair or asjust your watch while it is under warranty free of charge.The terms of warranty are described on the warranty card.
2. Period repair parts will be available
   Normally the repair parts for this watch will be available for ten years after production of the watch is discontinued.
   * Repair parts
   These mechanical components in the watch movement can be replaced if necessary.
   Other external parts not directly related to the function, such as the case, crystal, fase, hands, or crown, are not considered repair parts covered under the warranty. Replacement of these non repair parts may use parts different from the originals.
3. Repair period
   As a rule, repair of the watch is possible for the same period that repair parts are available. In some cases, the precision cannot be restored by repairing the watch. Therefore, make sure to consult the shop which the watch was purchased for repair requests.
4. Moving and gift item
   If you cannot return to the shop where the watch was purchased, contact your local service center for repairs.
5. Other inquiries
   For any question about the watch or concerning warranty or service, contact your local service center.

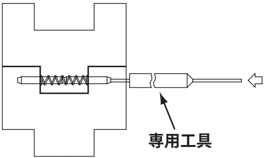
Handling precautions

This strap uses a special design to adjust the length.
A shop person should follow the procedure described below to adjust the length of the wrist strap.
Although it might be possible to adjust the strap using an ordinary screwdriver, the mechanism needs to be tightened securely.
Therefore a person in the shop should make this adjustment. The user should not try to adjust the strap.

* The strap length adjustment procedure is described at the end of this manual.
* This product comes with one special tool to adjust the length of the strap.



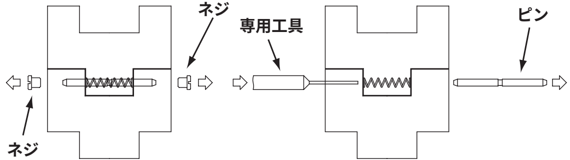
③駒を分離し、中からバネを取り出す。



④逆の手順にて駒を組み、ピンを押し入れ、工具の短い方を用いてピンを押し込む。
※専用工具はバンドに当たるまで押し込みますとピンが中心にセットされます。
⑤ふたネジを締めます。

【バンド長さ調節手順】

本バンドはピンとバネを組み合わせたSピン式構造にふたネジでカバーをした構造を採用しています。



①左右のふたネジを外します。

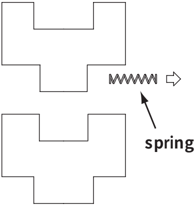
②図の様な付属の専用工具を用いてピンを抜く。

※ピンは専用工具にて簡単に押し出せます。
※ハンマー等で無理にたたいたりしないでください。

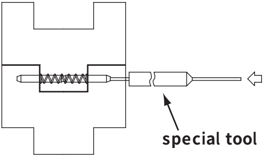
お取扱いについて

本バンドの長さ調整は特殊構造になっております。
長さの調整につきましては、記載手順に従いまして、必ずお取扱い店様にて行っていただきます様、お願い申し上げます。
一般的な精密ドライバー等でも、調節は可能ですが、技術者による適度な締め付け作業が要求されますので、お客様ご自身による調節作業は避けていただきます様、お願い申し上げます。

※本説明書の巻末にバンド長さ調節手順の説明を記載しています。
※本製品には、長さ調整専用工具が1本付属しております。



3) Separate the link, and
remove the spring
inside.



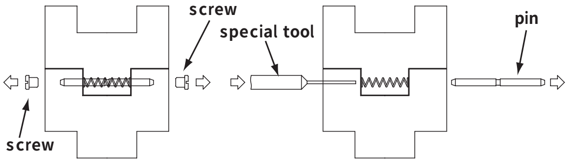
4) After putting the spring in, reassemble the link and insert the pin.
Push the pin in using the shorter end of the tool.

* Push the tool in until it contacts the link, so that the pin will be positioned in the center.

5) Reinstall the screws on both ends.

[Strap length adjustment]

This strap has a special design. There are screws at both ends of the adjusting link. Inside the link are a pin and a spring.



1) Remove the screws on both sides of the link.

2) Remove the pin using the supplied special tool, as shown in the figure.

* The pin can be pushed out easily using the special tool

* Do not bang on the tool to remove the pin.